



令和3年度

# 学推実践報告

宜野湾市立真志喜中学校

令和4年3月吉日  
発行

## 主体的に学習に取り組む生徒の育成をめざして



3 学年学級対抗レク大会

これからの変化の激しい社会を生きていく生徒たちには、教えられたことを教えられたとおりに再現するだけではなく、自ら進んで主体的に学んでいく姿勢が求められます。

真志喜中学校では、今年度「主体的に学習に取り組む生徒の育成」をテーマに掲げ、生徒と教師が一体となって様々な取り組みにチャレンジしてきました。コロナ禍にあって実践報告会が開催できなかったため紙面をお借りして報告に替えさせていただきます。

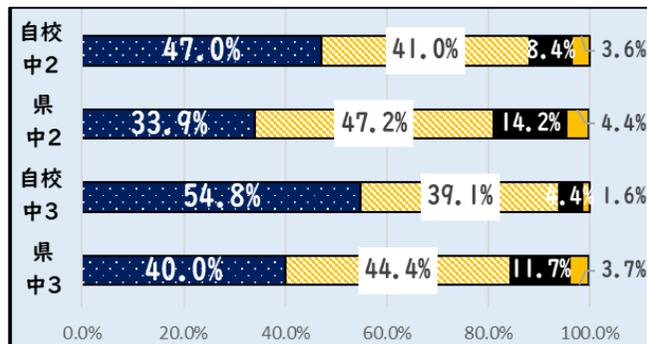
### 昨年に比べ自己肯定感は改善

昨年度の県の生徒質問紙調査によりますと、本校の生徒は「自分には良いところがある」「先生はあなたの良いところをみとめているか」といった自己肯定感に関する質問に対して県平均より低い傾向が見られました。

そこで昨年度よりグッジョブさん運動やハッピーカードなど互いの良さをみつける取り組みを行ってきました。そのほかにも、学級の友達と自分の考えを深めたり広げたりする授業にも取り組んできました。その結果、今年は2、3学年で県平均を10ポイント以上上回り、課題が改善されました(図1)。

図1 自己肯定感に関する調査結果(令和3年度沖縄県版生徒質問紙調査より)

項目1「自分にはよいところがありますか」に対する回答者の割合。グラフ左より「当てはまる・どちらかといえば当てはまる・どちらかといえば当てはまらない・当てはまらない」の順に示している。



## 地域のみなさん、こんにちは!

1学年は、11月26日に職場体験に代わるキャリア形成体験学習の一環として社会貢献活動に取り組みました。生徒は自分の住んでいる地域の公民館に登校し、地域の方と一緒にゴミ拾いなどをしました。

1 学年社会貢献活動



## SDGsを考えるきっかけに!

2学年は「持続可能な社会づくりとは」というテーマで調べ学習に取り組んでいます。その授業の一環として11月26日に沖縄こどもの国に行きました。

2 学年日帰り学習会

## 真中生の強みは、学校生活をよりよくするために話し合っ解決方法を見出せる、という実感を持っていること

今年度はコロナの影響が多々ありましたが、各学年ともに工夫して生徒の主体性を意識した取り組みを行ってきました。自分たちの話し合いの結果が行事などに反映されたためか、図2のグラフに示すように県平均に比べて学年が上がるごとに肯定的な回答が多く、県平均を上回りました。

一方、「自分で計画を立てて勉強をすること」や「課題解決に向けて自分で考えて自分から取り組んでいる」に関しては1、2学年はやや課題があります(データは省略)。次年度は、家庭学習のあり方をとらえ直し、生徒の現状とニーズに合わせた取り組みに改善していく必要があると考えております。

保護者の皆様におかれましては、今後とも本校への教育活動に引き続きご協力をよろしくお願い致します。

図2 組織力に関する調査結果(令和3年度沖縄県版生徒質問紙調査より)

項目14「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよきを生かして解決方法を決めていると思いますか」に対する回答者の割合。グラフ左より「当てはまる・どちらかといえば当てはまる・どちらかといえば当てはまらない・当てはまらない」の順に示している。

